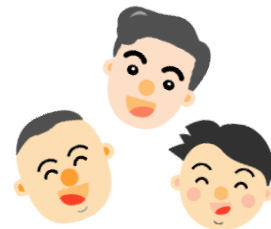


男性へのHPVワクチン任意接種費用助成のお知らせ

対象者 接種日現在、区内に住民登録がある小学6年生から
高校1年生相当の年齢の男性

対象ワクチン 4価HPVワクチン（商品名：ガーダシル）

助成金額 1人につき3回（接種完了）まで無料
※2回目は1回目接種から2か月後に接種
※3回目は1回目接種から6か月後に接種
※接種を見合わせ、予診のみとなった場合には、費用が発生します。



▼詳細はこちらで確認できます



目黒区公式
ウェブサイト
(コード①)

実施場所 区内実施医療機関

※この助成制度は、**目黒区内の実施医療機関のみ**で有効です。

※目黒区内でも実施医療機関以外で接種した場合や、他区市町村での接種の場合は、助成対象外です。

◆特徴

HPV（ヒトパピローマウイルス）は主に性行為によって感染するウイルスで、子宮頸がん、中咽頭がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等多くの疾患の原因となっています。HPVには多くの型があり、4価HPVワクチンはこれらの発症に関係するHPV6、11、16、18型の4つの型のHPV感染に起因する疾患を予防するワクチンです。現在のところ、男性への接種により、考えられる効能又は効果は、「肛門癌及びその前駆病変」、「尖圭コンジローマ」となっています。加えて、男性がワクチン接種によるHPVへの感染予防をすることで、性交渉によるHPV感染から女性を守り、子宮頸がんの予防にもつながります。

なお、接種時にすでにHPVに感染している場合には、4価HPVワクチンを接種してもウイルスを排除する効果や、疾患の進行を遅らせる効果を期待することはできません。また、4つの型（HPV6、11、16、18型）以外のHPVの感染に起因する疾患に対して、予防効果はありません。

◆副反応について

(1) ワクチンの接種と関連性があると考えられる主な副反応は以下のとおりです。

頻度10%以上	注射部位の痛み・赤み・腫れ
頻度1～10%未満	頭痛、注射部位のかゆみ、発熱
頻度0.1～1%未満	体がふらつくめまい、感覚が鈍くなる、傾眠（刺激がないと眠ってしまう）、体が回転しているように感じる、下痢、腹痛、悪心、手足の痛み、筋肉が硬くなる、手足の不快感、注射部位のしこり・出血・不快感・内出血・変色・知覚低下・熱感、だるさ、白血球数増加
頻度不明	皮膚局所の痛みと熱を伴った赤い腫れ、リンパ節の腫れ・痛み、失神、おう吐、関節の痛み、筋肉痛、注射部位の血腫、無力症（まぶたが下がる、物がだぶって見えるなど）、寒気、疲れ

(2) 過敏症反応（アナフィラキシー反応〈呼吸困難、目や唇のまわりの腫れなど〉、気管支痙攣〈発作的な息切れ〉、じんましんなど）、ギラン・バレー症候群（下から上に向かう両足のまひ）、血小板減少性紫斑病（鼻血、歯ぐきの出血、月経出血の増加など）、急性散在性脳脊髄炎（まひ、知覚障害、運動障害など）があらわれることがあります。このような症状が疑われた場合は、すぐに医師に申し出てください。

※裏面もご確認ください。

◆接種を受けることができない方

- (1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）。
- (2) 重い急性疾患にかかっている方。
- (3) ワクチンの成分（詳しくは医師にお尋ねください）によって、過敏症（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応を含む）をおこしたことがある方。
- (4) その他、かかりつけの医師に予防接種を受けないほうがよいと言われた方。

◆次の方は接種前に医師にご相談ください

- (1) 血小板減少症や凝固障害を有する方。
- (2) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方。
- (3) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しん等のアレルギーを疑う症状のみられた方。
- (4) 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- (5) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは先天性免疫不全症と診断された近親者がいる方。
- (6) ワクチンの成分によって、アレルギーの症状がみられる可能性のある方。
- (7) 他のHPVワクチンの接種を受けたことがある方。

◆接種後の注意

- (1) 接種後は注射した部位を強く揉まず、軽く押さえる程度にとどめてください。
- (2) 接種後に、注射による恐怖、痛みなどが原因で、気を失うことがあります。気を失って転倒してしまうことをさけるため、接種後すぐに帰宅せず、30分程度は接種した医療機関で座って安静にし、医師とすぐに連絡がとれるようにしておいてください。
- (3) 接種後に、注射した部位が腫れたり、痛むことがあります。これは、体内に備わっている抵抗力が注射した成分を異物として認識するためにおこります。通常は数日間程度で治まります。
- (4) 接種後は、接種部位を清潔に保ってください。
- (5) 接種当日は、激しい運動を控えてください。
- (6) 接種した日の入浴は問題ありません。
- (7) 接種後1週間は体調に注意し、気になる症状があるときは医師にご相談ください。

◆予防接種による健康被害救済制度について

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害が生じる可能性があります。男性へのHPVワクチン接種は予防接種法による健康被害救済制度の対象にはなりません。その内容、程度に応じて独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による医薬品副作用被害救済制度及び特別区自治体総合賠償責任保険に基づく救済の対象になることがあります。

◆助成の方法

- (1) 実施医療機関にHPVワクチン接種希望であることを伝え、予約を取ってください。
- (2) 接種日当日に、住所・年齢等を確認するため、子ども医療証や母子健康手帳等をお持ちください。
- (3) 予診票は、実施医療機関に設置しています。接種前の質問事項（体調や接種歴など）に回答してください。接種可能と医師が判断し、保護者が接種に同意した場合、接種を受けることができます。

◆保護者の同伴について

- (1) お子さんが予防接種をするにあたっては、原則、保護者の同伴が必要ですが、13歳以上で受ける方については、保護者が同伴しなくても予防接種を受けることができます。
- (2) お子さんが13歳以上16歳未満であって、保護者がこのお知らせを読み、納得してお子さんに予防接種を希望する場合には、予診票の下部「被接種者が13歳～15歳で保護者が同伴しない場合」欄の記載又は「同意書」の提出が必要です。予診票は、お子さん本人が自署ください。また、保護者に代わって祖父母等が同伴する場合は、保護者の「委任状」が必要です。

目黒区公式ウェブサイト（コード①）では、「同意書」や「委任状」の様式のほか、「実施医療機関の一覧」等も掲載しています。

